

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 24 No 9

278号

平成28年 9月 3日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

日本外来小児科学会年次集会

院長

毎年8月末は、日本外来小児科学会年次集会に参加しています。今年は、うどん県と呼ばれる香川県の高松市で、8月26～28日に開催されました。学会の役員で法人化の打ち合わせもあり、例年より1日早い木曜日出発となり、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしました。休診のお詫びにはなりません、毎年恒例の学会の様相を紹介します。

ご存知のことと思いますが、昨年は仙台で会長として開催し大盛況のうちに終わることができました。今年は遠かったのですが、お礼の意味を込めて事務スタッフ2名と一緒に参加しました。看護師のお母さん組は都合がつかず、残念ながら参加できませんでした。


初日は東照宮駅から仙台空港駅に向かう予定でしたが、仙山線の遅れにより空港線に乗り遅れてしまいました。初っ端から嫌な予感に包まれてしまいました。とは言うものの、その後は順調に仙台空港から伊丹空港へ。さらに新大阪からは新幹線で岡山、その先はマリライナーで高松まで。自宅を出てから6時間、や



っぱり遠い高松でした。そのまま温泉旅館に泊まり、大浴場でつかり、久しぶりにのんびりとした夜を過ごすことができました。


2日目はちょっと時間に余裕があったので、屋島に向かい源平合戦に思いを馳せ、展望台から望む素晴らしい眺望を堪能できました。ともかく高松に着いたときから仙台とは比べものにならないほどの暑さ、屋島ではもう少しで熱中症になりそうな酷暑でした。つかの間の観光の後には、日本外来小児科役員会、さらには法人化したための第1回定時総会。ちょっとした問題はあったものの議事は滞りなく終了。総会に来ていた「はなちゃん先生」とまたもや、いつものポーズでツーショット。無事終了した安心感の空腹を満たすため、仙台組の萱





9月のお知らせ

- 東北大学医学部学生実習
9日(金)
ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご協力をお願いします。
- 栄養育児相談
14、28日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料



場先生と骨付鳥の一鶴へ。途中雨で濡れながら40分並んでやっとありつけました。はてさて、骨付鳥とはいかなるものか…。ひなどりとおやどりを食べ比べてみたが、どうも私の嗜好には合わなかった。



3日目からが年次集会の本番。昨年の年次集会参加のお礼のため学会場をうろうろ。そして次なる役目は、埼玉の峰真人先生のランチョンセミナー「予防接種推進のポイント～キャッチアップ接種とリスク管理～」の座長。もちろんのことながらしっかり役目を果たして終了。もう一つの目的は、患者の会・家族の会の展示ブース訪問。昨年来てもらった人たちに、お礼と激励するのが目的。こんな性格なのが幸いしてなのか、どのブースからも引っ張りだこで、いつものポーズで写真の撮りまくり。帰ってからのFacebookでは“ア



イドル、超人気者”と表現される幸せ者。そして夜はスタッフ共々懇親会へ。ここでも昨年のお礼、さらには次期年次集会会頭を連れての挨拶回り、“会頭は落合先生、三重県で開催

よろしくをお願いします”と…。そして夜が更けるのを忘れての二次会。

最終日は、朝7:30分から歴代会長朝食会、ただ眠たいだけの朝食でした。帰りはスタッフと一緒に『ミシュラン観光ガイド』に「わざわざ訪れる価値のある場所」として最高評価3つ星に選定された、高松藩の歴代藩主が百年余りの歳月をかけて完成した「栗林公



園」に。日本の名園と称される庭は、お殿様の財力・権力を含めた強大な力をまざまざと見せられました。時間的な都合で閉会式はパスして、マリライナー、新幹線、そして飛行機で仙台へ。暑さがこれほどと思うほど疲れた学会ですが、写真を見ると美女に囲まれて(?)の有意義な時間を過ごすことができました。

夏休みに続いての休診だったので、ご迷惑をおかけしました。高松まで来て、スタッフたちも空いた時間を利用して、観光も楽しめたようです。あまりの暑さで、金毘羅さん登頂を断念したのが心残りのようです。

このように余裕を持って学会に参加できるのも、患者さんのご理解とご協力のお陰です。学会で得たものを、これからの診療に生かしていこうと思います。ありがとうございました。

『がんばろう！熊本 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月はなんとか2通のメールをいただきました。最近直接メールをもらうことは少なくなったのですが、Facebookでコミュニケーションが図れています。まずは秋田に行ってもかかりつけの浅野さんから。NEWSを読んでいる人は思い出して欲しいのですが、ジャンパー膝で運動を控えるように発した「魔法の言葉」(6月号)の報告です。「川村先生、スタッフの皆様、ごぶさしております。浅野花みち・花怜母です。仙台での台風の影響を心配していましたが、無事に過ぎたご様子でしたので、子供達も、安心していました。こちら被害なく終わりましたが、報道で岩手では亡くなった方々がいたとのこと、災害のたびに心が痛みます。5月には、先生からの魔法のお言葉をいただき、本当にありがとうございました。御礼が遅くなり申し訳ない気持ちでしたが、やっとゴール？がみえてきたので、メールさせていただきました。まず、花みちにはメールをいただいてすぐ、先生の言葉を伝えました。「そっか、川村先生…」と言って、しばらく考えていました。その後、ゆつたりと魔法にかかり(*^o^*)、気持ちをおさえながら、でも、先生の言葉をすっかり思い出しながら、スポ少はじめ、他のスポーツもゆつくり頑張ってきました。おかげさまで、今は膝の痛みもなく、元気にスポーツや体育ができています。スポ少では、練習が全部できないため、しばらく皆と距離感がうまくいっていましたが、なんとかまわりにも助けられながら、自分を思ってくれた先生の言葉を大切に、夏休み明け、また頑張りたいと思う気持ちになりました。魔法の言葉は、効き目も長く、効果大！でした！病気でないお話しで忙しい先生に頼ってしまい、本当にすみません。でも、私も花みちもすごく、すごく、ありがたかったです。実は、私の母が大腸がんで緊急入院、手術、ここ2カ月でいろいろなことがありました。やっと先週末退院でき、今こうして先生にご連絡できることを自分の中で嬉しく思っています。(母は先生の大ファンです(*^_^*))先生が随時配信して下さるお話し、参考にになり、どんな時も元気がでます。そして、先生もお元気なんだなあ、と安心します。これからも楽しみにしています！それでは、まだまだ暑さが続く季節、先生、皆様、どうぞお元気でお過ごしください。魔法の言葉伝わってよかったです。これも親御さんだけでなく、子どもとの信頼関係なのでしょう。それがやはり、かかりつけというものなのでしょう。

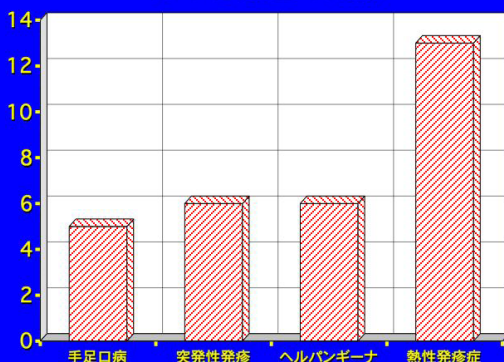


続いては、青葉区のKさんからのメールです。10月13日に太白区の子育て支援活動の一環として「健やかな子どもの育ちのためにできること～子育て支援と虐待予防～」を仙台市シルバーセンターで院長が講演します。対象は太白区内の民生委員・児童委員、主任児童委員、保育所、児童館等仙台市子育て支援課・各区家庭健康課関係職です。その情報を聞いたかかりつけのお母さんからメールをもらいました。仕事柄匿名にしました。「川村先生、ご無沙汰しております。今年、〇は受験生になり、心身ともにたくましくなりました。〇も中学生になり、相変わらずのあんな感じですが、剣道部で頑張っています。二人とも、あんなに私を悩ませたくせに、病気もしなくなり、よく食べ、よく寝て、健康に過ごしています。さて、メールしたのは10/13の研修会で川村先生のお話を聞きに行けることになりました！所長、主任が川村先生を絶賛していて、密かに鼻を高くしています(o`v`o)ただそれだけなんです(笑)今から楽しみにしています！」「ただそれだけなんです」、それが嬉しいですよ。講演は開業理念「お母さんの不安・心配の解消」に基づく子育て支援活動、活動を通しての虐待防止の取り組みを紹介します。所長も主任が絶賛と聞いて嬉しさとともにプレッシャーを感じています。以外と知らないところでも有名なんですね。こちらも楽しみにしています。ありがとう。

・麻しんの流行に関して(注意喚起)

昨年4月号のCLINIC NEWSで「麻しん排除」を記事にしたばかりですが、7月から現在まで麻しん感染が3件続いています。1件目は千葉県松戸市で7月22日から8月16日までに乳幼児を中心に9名の麻疹患者の届出がありました。2件目は兵庫県西宮市在住の19歳男性が麻しんが発症しているにもかかわらず、8月14日に幕張メッセで開催されたコンサートに参加しました。コンサートには2万5千人参加したので感染の拡大が心配されています。3件目は関西国際空港で地上業務員2名が麻しんと診断されました。その後20人前後の感染が続いています。麻しんは感染力が強く、初期には発疹が出ないため診断が難しく、感染の拡大が懸念されます。麻しんの潜伏期は10～12日前後ですので、関空では17日以降利用した乗客に注意喚起をしています。対応としては、麻しん流行場所で接触の可能性のある方は、待合室での感染を防ぐため、受診前に電話で相談してください。もう一つ重要なことはワクチン接種です。MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の定期接種は、第1期(1歳児)、第2期(小学校入学前1年間の幼児)です。接種期間に入ったお子さんは、速やかに接種しましょう。また、ワクチン1回接種者は追加接種の必要があり、未接種者は医療機関で相談してください。ワクチンは個人を守る意味だけではなく、家族や社会を守るために必要との意識を持ち、麻しんの感染を防ぎましょう。

8月の感染症の集計



夏休みのせいかもしれませんが、水痘、溶連菌感染症は1例もありませんでした。夏かぜの仲間のヘルパンギーナ並びに手足口病が増えています。今年は両疾患とも典型的な症状は少なく、病名を確定するのが難しい状況です。夏のせいも全体的には感染症を含めて患者さんが少ない状況です。

上にも書きましたが、国内あちこちで麻しんの集団発生が見られています。早めのワクチン接種ですよ。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、570人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTube、ブログにも取り組んでいます。最新情報はFBを見てください。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomo-clinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews

Facebook

編集後記

夏休みの後、学会出張と続けて休みをいただきました。事前に休診情報を流していますが、知らずに受診した人もいるかもしれません。ご迷惑をおかけしました。このような休みを頂けるのも皆さんのご理解とご協力のおかげです。今回で半年分をリフレッシュし、学会で得たものを後半の診療に役立てていきたいと思っています。ありがとうございました。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！